

No	学類/研究科	氏名	カナ	研究分野	英語による指導	その他
1	人間発達文化	高谷 理恵子	タカヤ リエコ	乳幼児の身体制御に関する発達		研究を行うのに必要な日本語能力を有していること。
2	人間発達文化	富永 美佐子	トミナガ ミサコ	青年期の進路発達とその支援		日本語で論文を作成、発表できること。
3	人間発達文化	原野 明子	ハラノ アキコ	幼児の仲間関係の発達		日本語能力試験（JLPT）のN2以上の日本語能力を有していること
4	人間発達文化	飛田 操	ヒダ ミサオ	人間関係と集団についての心理学	○	研究を行うのに必要な日本語または英語能力を有していること。
5	人間発達文化	保木井 啓史	ホキイ タカフミ	幼児教育学		日本語能力試験のN1以上の日本語能力を有していること。
6	人間発達文化	角間 陽子	カクマ ヨウコ	家庭科教育学、生活経営学		日本語能力試験（JLPT）のN2以上の日本語能力を有していること。
7	人間発達文化	高橋 純一	タカハシ ジュンイチ	障害理解、能力の多様性		日常会話を行うのに必要な日本語能力を有していること （論文発表や学会発表は英語でも可）。
8	人間発達文化	千葉 桂子	チバ ケイコ	被服のデザインと機能		日本語能力試験（JLPT）のN2以上の日本語能力を有していること。
9	人間発達文化	千葉 養伍	チバ ヨウゴ	食品科学		日本語能力試験（JLPT）のN2以上の日本語能力を有していること。
10	人間発達文化	中村 恵子	ナカムラ ケイコ	調理のコツとおいしさについて		日本語能力試験（JLPT）のN2以上の日本語能力を有していること。
11	人間発達文化	今尾 滋	イマオ シゲル	声楽・オペラ	○	日本語能力試験(JLPT)のN2以上の日本語能力を有していること。または、イタリア語もしくはドイツ語で声楽のレッスンを受けられる能力を有すること。
12	人間発達文化	加藤 奈保子	カトウ ナホコ	西洋美術史・美学	○	日本語能力試験(JLPT)のN2以上の日本語能力を有し、日本語でコミュニケーションが取れること。
13	人間発達文化	杉田 政夫	スギタ マサオ	音楽科教育		日本語能力試験(JLPT)のN2以上の日本語能力を有していること
14	人間発達文化	渡邊 晃一	ワタナベ コウイチ	絵画、現代美術、制作学	○	日本語能力試験(JLPT)のN2以上の日本語能力を有し、日本語でコミュニケーションが取れること。
15	人間発達文化	飯嶋 良太	イジマ リョウタ	言語芸術、特に英語・北米のもの	○	日本での学生生活が可能な水準の日本語会話能力を有すること。研究分野と直接の関係がない目的での言語指導に対して教員は責任を負わない。
16	人間発達文化	井貫 充史	イジツ ミチフミ	日本古代文学・和漢比較文学		日本語能力試験(JLPT)のN2以上の日本語能力を有していること。
17	人間発達文化	川田 潤	カワタ ジュン	主に英語圏の文化の研究		
18	人間発達文化	佐藤 佐敏	サトウ サトシ	国語科教育学、学習指導論		専門的な研究論文を理解し、かつ、論文を執筆するために必要な高度な日本語能力を有していること。
19	人間発達文化	佐藤 元樹	サトウ モトキ	理論言語学、統語論、意味論	○	
20	人間発達文化	澁澤 尚	シブサワ ヒサシ	漢文学		研究、学会発表、及び論文作成に必要な高度な日本語能力(日本古文読解力・漢文訓読能力を含む)を有していること。
21	人間発達文化	高木 修一	タカキ シュウイチ	英語リーディングのメカニズムを探る/ 英語テストを科学する	○	
22	人間発達文化	高橋 優	タカハシ ユウ	ドイツ・ロマン主義の文学と思想		日本語話者及びドイツ語話者受入可
23	人間発達文化	高橋 由貴	タカハシ ユキ	日本近代文学・比較文学	○	日本語で書かれた明治期～現代の小説を読んで研究することができる日本語能力および英語能力を有していること。

No	学類/研究科	氏名	カナ	研究分野	英語による指導	その他
24	人間発達文化	半沢 康	ハンザワ ヤスシ	日本の方言の研究		研究を行うのに必要な日本語能力を有していること。
25	人間発達文化	相原 義弘	アイハラ ヨシヒロ	多様体上のネヴァンリンナ理論	○	
26	人間発達文化	中田 文憲	ナカタ フミノリ	微分幾何学	○	
27	人間発達文化	平中 宏典	ヒラナカ ヒロノリ	ICTを活用した理科教育、 地域地質を活かした地学教育		日本語能力試験(JLPT)のN2以上の日本語能力を有していること
28	人間発達文化	水澤 玲子	ミズサワ レイコ	島嶼生態学、植物の繁殖生態学	○	日本語能力試験(JLRT)のN3以上の日本語能力を有していること。
29	人間発達文化	和田 正樹	ワダ マサキ	解析学、確率論	○	
30	人間発達文化	小川 宏	オガワ ヒロシ	体育・スポーツの意義と目的	○	
31	人間発達文化	川本 和久	カワモト カズヒサ	陸上競技、酸化ストレス	○	
32	人間発達文化	菅家 礼子	カンケ レイコ	体育授業論	○	日本語能力試験(JLPT)のN2以上の日本語能力を有していること。
33	人間発達文化	杉浦 弘一	スギウラ コウイチ	スポーツ医科/コンディショニング	○	
34	人間発達文化	蓮沼 哲哉	ハスヌマ テツヤ	スポーツ社会学	○	
35	人間発達文化	安田 俊広	ヤスダ トシヒロ	運動生理学	○	
36	行政政策	高橋 有紀	タカハシ ユキ	刑法・刑事裁判法		研究を行うのに必要な日本語能力を有していること。
37	行政政策	上床 悠	ウワトコ ユウ	行政法	○	fluentな日本語の会話能力を有していること
38	行政政策	山崎 暁彦	ヤマザキ アキヒコ	民法		研究を行うのに必要な日本語能力を有していること。
39	行政政策	中里 真	ナカザト マコト	民法		
40	行政政策	荒木田 岳	アラキダ タケル	地方行政論		日本語でコミュニケーションがとれること。
41	行政政策	黒崎 輝	クロサキ アキラ	国際政治論	○	
42	行政政策	林 嶺那	ハヤシ レオナ	公共政策論、行政管理論	○	日本語能力試験(JLPT)のN2以上の日本語能力を有していること。または、ヨーロッパ言語共通参照枠(CEFR)のB2相当以上の英語能力を有していること。
43	行政政策	岩崎 由美子	イワサキ ユミコ	社会計画論		
44	行政政策	今西 一男	イマニシ カズオ	都市計画論・社会調査論		日本語による研究(読解・論述)及び日常会話に支障がないことを条件とします。
45	行政政策	徳竹 剛	トクタケ ツヨシ	地域史		日本語で研究論文を執筆できる能力を有していること。
46	行政政策	菊地 芳朗	キクチ ヨシオ	考古学	○	中国語とハンゲルを母語とする者も受け入れ可

No	学類/研究科	氏名	カナ	研究分野	英語による指導	その他
47	行政政策	久我 和巳	クガ カズミ	言語文化論		特になし
48	行政政策	田村 奈保子	タムラ ナホコ	フランス文学・文化		日本語でコミュニケーションが取れること。フランス語での受け入れ可。
49	行政政策	照沼 かほる	テルヌマ カオル	アメリカ文化	○	研究を行うのに必要な語学力を有していること。英語での受け入れを希望する場合でも、日本語でコミュニケーションが取れることが望ましい。
50	行政政策	新藤 雄介	シンドウ ユウスケ	メディア論		学術的な議論を、日本語で行うことができる会話の語学的基礎力を有していること。中公新書・岩波新書(学術性の高い新書)を、1週間で1冊読める日本語での読書の基礎力を有していること。
51	経済経営	井上 健	イノウエ ケン	統計学、計量経済学		
52	経済経営	小島 健	オジマ タケシ	マクロ経済学、行動経済学	○	
53	経済経営	熊沢 透	クマザワ トオル	労働経済、社会政策、社会保障		
54	経済経営	佐藤 寿博	サトウ トシヒロ	経済学(近代経済学)		
55	経済経営	佐野 孝治	サノ コウジ	開発経済学		Development Economics
56	経済経営	朱 永浩	ズウ ヨンホ	北東アジア経済論、中国経済論		
57	経済経営	末吉 健治	スエヨシ ケンジ	経済地理学		
58	経済経営	十河 利明	ソゴウ トシアキ	アメリカ経済論		
59	経済経営	沼田 大輔	ヌマタ ダイスケ	環境経済学	○	なお、ゼミ・授業は、他の受講生との関係で、英語での実施はできません。英語での対応は基本的に個別指導になります。
60	経済経営	藤原 遙	フジワラ ハルカ	地域経済学、地方財政論、環境経済学	○	ヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）のB2相当以上の英語能力を有していること。
61	経済経営	三家本 里実	ミカモト サトミ	労働過程論、労働社会学		
62	経済経営	吉田 樹	ヨシダ イツキ	都市・地域計画地域交通政策、観光政策	○	日本語能力試験（JLPT）のN2以上の日本語能力を有していること。
63	経済経営	稲村 健太郎	イナムラ ケンタロウ	租税法		日本語能力検定N2以上の日本語能力を有していること。また、日本の租税法に関する法律、判例、文献を読み、日本語での議論・レポート執筆ができること。
64	経済経営	奥山 修司	オクヤマ シュウジ	マネジメント会計、取引デザイン		
65	経済経営	金 善照	キム ソンジョ	組織行動論、人的資源管理論、マクロ組織論、組織社会学	○	
66	経済経営	下山 誠	シモヤマ マコト	会計学(財務諸表論、原価計算論)、監査論		
67	経済経営	野際 大介	ノギワ ダイスケ	マーケティングサイエンス、経営統計学、消費者行動論	○	Marketing science、Business statistics、Consumer behavior theory
68	経済経営	村上 早紀子	ムラカミ サキコ	地域づくり、住居学、都市計画		日本語能力試験（JLPT）のN2以上の日本語能力を有していること。また、韓国語でも受け入れ可能です。
69	経済経営	クズネツオーフ・M	クズネツオーフ・マリーナ	社会論	○	ロシア語

No	学類/研究科	氏名	カナ	研究分野	英語による指導	その他
70	経済経営	吉高神 明	キッコウジン アキラ	国際公共政策論、国際関係論	○	
71	共生システム理工	篠田 伸夫	シノダ ノブオ	情報コミュニケーション技術の教育利用および情報セキュリティに関する研究		日本語能力試験(JLPT)のN2以上の日本語能力を有していること。
72	共生システム理工	中村 勝一	ナカムラ ショウイチ	データ工学、HCI、教育工学	○	日本語能力試験(JLPT)のN2以上の日本語能力を有していること。または、ヨーロッパ言語共通参照枠(CEFR)のB2相当以上の英語能力を有していること。
73	共生システム理工	中山 明	ナカヤマ アキラ	ネットワーク構造でモデル化された現実の現象や諸問題に対する各種アルゴリズムの開発	○	英語で受け入れてもよいが、現在の当研究室の研究体制がそうっていないため、初期の時点では日本語と英語の併用を希望する。
74	共生システム理工	石岡 賢	イシオカ マサル	製品開発を行う場合、どのようにテクノロジーを活用すれば顧客の要求を満たし、さらには他企業との競争で勝てるのかに関する実践的な研究	○	
75	共生システム理工	石川 友保	イシカワ トモヤス	ロジスティクス、オペレーションズ・リサーチ		
76	共生システム理工	西嶋 大輔	ニシジマ ダイスケ	環境システム分析	○	勉学および研究に意欲のある学生を受け入れさせていただければと思います。
77	共生システム理工	樋口 良之	ヒグチ ヨシユキ	生産、物流、経営、資源エネルギー、廃棄物を対象にしたシステムのモデリング、シミュレーション解析、AI応用の研究		積極的に日本語を学びながら、研究を進められること。
78	共生システム理工	高橋 隆行	タカハシ タカユキ	人間のさまざまな活動を支援することをめざし、新しいコンセプトのロボットを実現するためのシステム技術・要素技術に関する研究開発を行っている。	○	学習効果を高めるためには、日本語ができた方がベター（ゼミでの学生の発表が基本的に日本語となるため）
79	共生システム理工	田中 明	タナカ アキラ	人工心臓や心拍変動解析など血液循環系を中心とした信号解析、モデリングや制御アルゴリズムの開発に関する研究を行っている。	○	日本語能力試験(JLPT)のN2以上の日本語能力を有していること。または、ヨーロッパ言語共通参照枠(CEFR)のB2相当以上の英語能力を有していること。電気、制御、信号処理に関する基礎知識が必要。面接を行う。
80	共生システム理工	馬場 一晴	バンバ カズハル	一般相対性理論、場の量子論、素粒子論に基づいて素粒子的宇宙論及び重力理論の研究を行っております。	○	学問に真摯に取り組んで頂ける方の積極的なご応募をお待ちいたしております。
81	共生システム理工	二見 亮弘	フタミ リョウコウ	麻痺した手足の運動機能を補助する電気刺激と、脳の感覚・運動系のモデリングの研究を行っている。	○	日常会話程度の日本語力は必要
82	共生システム理工	衣川 潤	キヌガワ ジュン	ロボット工学、人間機械協調	○	研究を行うのに必要な日本語または英語能力を有していること。
83	共生システム理工	山口 克彦	ヤマグチ カツヒコ	物性物理学を基盤とした磁気と光(放射線を含む)について、実験・シミュレーションの両面から研究している。	○	日本語能力試験(JLPT)のN2以上の日本語能力を有していること。または、ヨーロッパ言語共通参照枠(CEFR)のB2相当以上の英語能力を有していること。
84	共生システム理工	猪俣 慎二	イノマタ シンジ	有機金属化学	○	
85	共生システム理工	大橋 弘範	オオハシ ヒロノリ	物理化学、X線分光学	○	日本語能力試験(JLPT)のN2以上の日本語能力を有していること。または、ヨーロッパ言語共通参照枠(CEFR)のB2相当以上の英語能力を有していること。
86	共生システム理工	大山 大	オオヤマ ダイ	金属錯体化学	○	
87	共生システム理工	杉森 大助	スギモリ ダイスケ	環境浄化・未利用バイオマス変換・有用物質生産のための微生物・酵素の研究開発	○	片言の日本語と英語でコミュニケーションが取れれば問題ないと思います。
88	共生システム理工	高安 徹	タカヤス トオル	非ベンゼン系芳香族化合物の合成と性質に関する研究	○	
89	共生システム理工	高良 慶隆	タカガイ ヨシタカ	分析化学、分離化学、ナノ材料工学に関する研究	○	
90	共生システム理工	中村 和正	ナカムラ カズマサ	材料工学、特に炭素材料を初めとした無機材料(セラミックス)や複合材料の開発と分析	○	日本語能力試験(JLPT)のN2以上の日本語能力を有していること。または、ヨーロッパ言語共通参照枠(CEFR)のB2相当以上の英語能力を有していること。材料工学分野について十分な研究遂行能力を有していること。
91	共生システム理工	佐藤 理夫	サトウ ミチオ	化学工学・物質移動解析・物質循環解析(リサイクル)・エネルギープロセス解析(再生可能エネルギー)	○	福島県内など地域の課題を研究対象とすることが多いため、一般市民や地域産業界と意思疎通できる程度の日本語力があることが望ましい。
92	共生システム理工	兼子 伸吾	カネコ シンゴ	分子生態学・保全生態学	○	

No	学類/研究科	氏名	カナ	研究分野	英語による指導	その他
93	共生システム理工	木村 勝彦	キムラ カツヒコ	森林の生態学、特に年輪解析を用いた動態とその履歴に関する研究		
94	共生システム理工	黒沢 高秀	クロサワ タカヒデ	アジア産トウダイグサ科植物の分類学的研究および地域の植物相や保全に関する研究	○	日本語能力試験(JLPT)のN2以上の日本語能力を有していること。または、ヨーロッパ言語共通参照枠(CEFR)のB2相当以上の英語能力を有していること。
95	共生システム理工	塘 忠顕	ツツミ タダアキ	昆虫の比較発生学、地域の昆虫相保全	○	日本語能力試験(JLPT)のN2以上の日本語能力を有していること。または、ヨーロッパ言語共通参照枠(CEFR)のB2相当以上の英語能力を有していること。
96	共生システム理工	難波 謙二	ナンバ ケンジ	環境の微生物学、放射生態学	○	
97	共生システム理工	川越 清樹	カワゴエ セイキ	気候変動が流域圏の環境(主に水・土砂災害や水資源)に及ぼす影響に関する研究	○	詳細条件は特になし。事前の教員へのコンタクトが必要。
98	共生システム理工	柴崎 直明	シバサキ ナオアキ	地下水の動態、水収支、地下水障害、地下水資源の開発や地下水盆の管理に関する研究	○	
99	共生システム理工	横尾 善之	ヨコオ ヨシユキ	水文学、水資源工学、河川工学	○	
100	共生システム理工	吉田 龍平	ヨシダ リュウヘイ	応用気象学(農業、再生可能エネルギー)	○	
101	共生システム理工	川崎 興太	カワサキ コウタ	都市・地域再生、マスタープラン、土地利用、中心市街地、計画理論、都市計画訴訟、海外都市計画など、都市計画・まちづくりに関する研究	○	
102	共生システム理工	後藤 忍	ゴトウ シノブ	環境計画、環境システム工学、環境教育、原子力・放射線教育	○	
103	共生システム理工	永幡 幸司	ナガハタ コウジ	公正で調和のとれた音環境の実現を目指し、サウンドスケープ研究を行っている。		留学生を受け入れた場合、研究テーマは、日本と留学生の母国のサウンドスケープの比較研究となる可能性が高いため、日本語での社会調査、インタビュー調査が可能な日本語能力が必要である。
104	共生システム理工	小山 純正	コヤマ ヨシマサ	睡眠調節のメカニズムに関する研究をテーマに、睡眠中のラットの神経活動の解析を行っている。	○	
105	共生システム理工	高原 円	タカハラ マドカ	人間のさまざまな意識水準における認知活動を調べる精神生理学的な研究を行っている。	○	
106	共生システム理工	筒井 雄二	ツツイ ユウジ	災害心理学、実験心理学	○	日本語能力試験(JLPT)のN2以上の日本語能力を有していること。または、ヨーロッパ言語共通参照枠(CEFR)のB2相当以上の英語能力を有していること。
107	共生システム理工	塚田 祥文	ツカダ ヒロフミ	環境放射生態学	○	
108	共生システム理工	Aleksei Konoplev	アレクセイ・コノプリョフ	化学、放射線生物学	○	
109	共生システム理工	和田 敏裕	ワダ トシヒロ	魚類生態学、水産資源生態学	○	ヨーロッパ言語共通参照枠(CEFR)のB2相当以上の英語能力を有していること。
110	共生システム理工	Ismail Md. Mofizur Rahman	モフィズル・ラハマン	環境分析学	○	ヨーロッパ言語共通参照枠(CEFR)のB2相当以上の英語能力を有していること。
111	共生システム理工	脇山 義史	ワキヤマ ヨシフミ	水文地形学	○	ヨーロッパ言語共通参照枠(CEFR)のB2相当以上の英語能力を有していること。
112	共生システム理工	平尾 茂一	ヒラオ シゲカズ	環境放射能、大気拡散モデリング、放出源推定	○	ヨーロッパ言語共通参照枠(CEFR)のB2相当以上の英語能力を有していること。
113	共生システム理工	Vasyl Ioschenko	ヴァシル・ヨシェンコ	森林放射生態学	○	
114	共生システム理工	鳥居 建男	トリイ タツオ	放射線計測	○	
115	共生システム理工	高田 兵衛	タカタ ヒョウエ	海洋生物地球化学、環境放射能	○	ヨーロッパ言語共通参照枠(CEFR)のB2相当以上の英語能力を有していること。